

# 予算の主な使い道はどうなっているの？

生き生き未来へ



子供を安心して産み育てやすい環境の整備や、未来を担う人づくりのための予算だよ



つばし

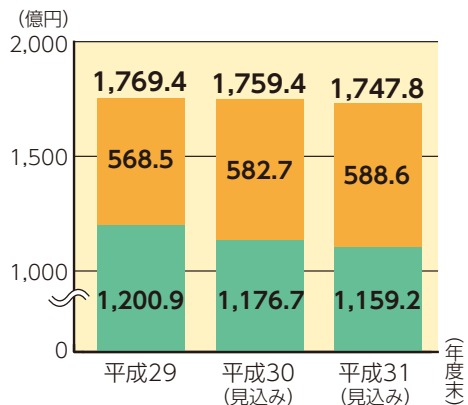


観光や地場産業の振興、企業誘致による雇用の創出など、地域の活性化につながる予算だよ



|                  |      |           |
|------------------|------|-----------|
| 就学助成費            | 重点   | 5億4,668万円 |
| 私立認可保育所等建設補助金    | 重点   | 1億4,432万円 |
| 放課後児童クラブ開設費      | 重点   | 1億2,248万円 |
| 保育士確保事業費         | 重点   | 2,609万円   |
| 放課後の児童の居場所づくり事業費 | 新規重点 | 487万円     |
| 子どもの未来応援費        | 重点   | 176万円     |
| 大雪カムイミントラDMO推進費  | 重点   | 6,970万円   |
| 緊急対策種苗購入支援費      | 新規重点 | 3,376万円   |
| 移住促進費            | 重点   | 2,045万円   |
| 地場産品開発・販路拡大支援費   | 重点   | 1,434万円   |
| 若者地元定着促進費        | 重点   | 321万円     |

## 市債残高の状況

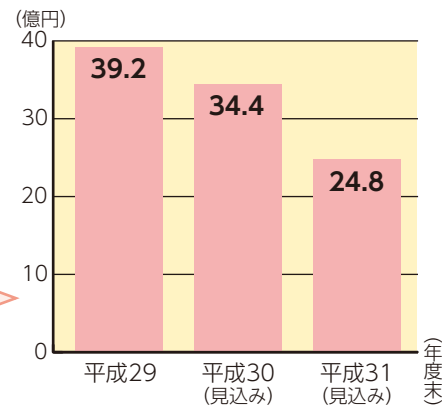


臨時財政対策債＝国の財源不足による地方交付税の不足分を補うための借入金（臨時財政対策債の返済費用は、全額が後年度の地方交付税の必要額に算入され、地方公共団体の財政運営に支障が生じないように措置されることになっています）  
建設事業等債＝道路や学校などの建設事業等のための借入金

市が公共事業等を実施するための借入金です。将来にわたって分割で返済していくことで、世代間の負担を公平にする役割があります。臨時財政対策債の残高は増えていますが、建設事業等債の借入を抑制しているため、全体の残高は年々減少しています。引き続き計画的に借入を行っていきます

予期せぬ減収や災害などの不測の支出に備えるための市の貯金です。不測の事態に備え、できるだけ減らさない財政運営に努めます

## 財政調整基金残高の状況



# 特集 平成31年度 旭川市の予算は何にどう使われるの？

平成31年度の予算が決まりました。総合計画で掲げる重点テーマ「こども」「しごと」「地域」を中心に、主な事業や予算の特徴についてお知らせします。

**合計 2,731億2,966万6千円**  
(前年度比5億1,600万8千円減)

一般会計 1,570億7,000万円  
特別会計 1,160億5,966万6千円  
(国民健康保険事業や動物園事業など11事業)

【詳細】政策調整課 25・5358、財政課 25・5672

私たちが紹介するよ



「旭川市の予算はどうなっているの？」をご覧ください

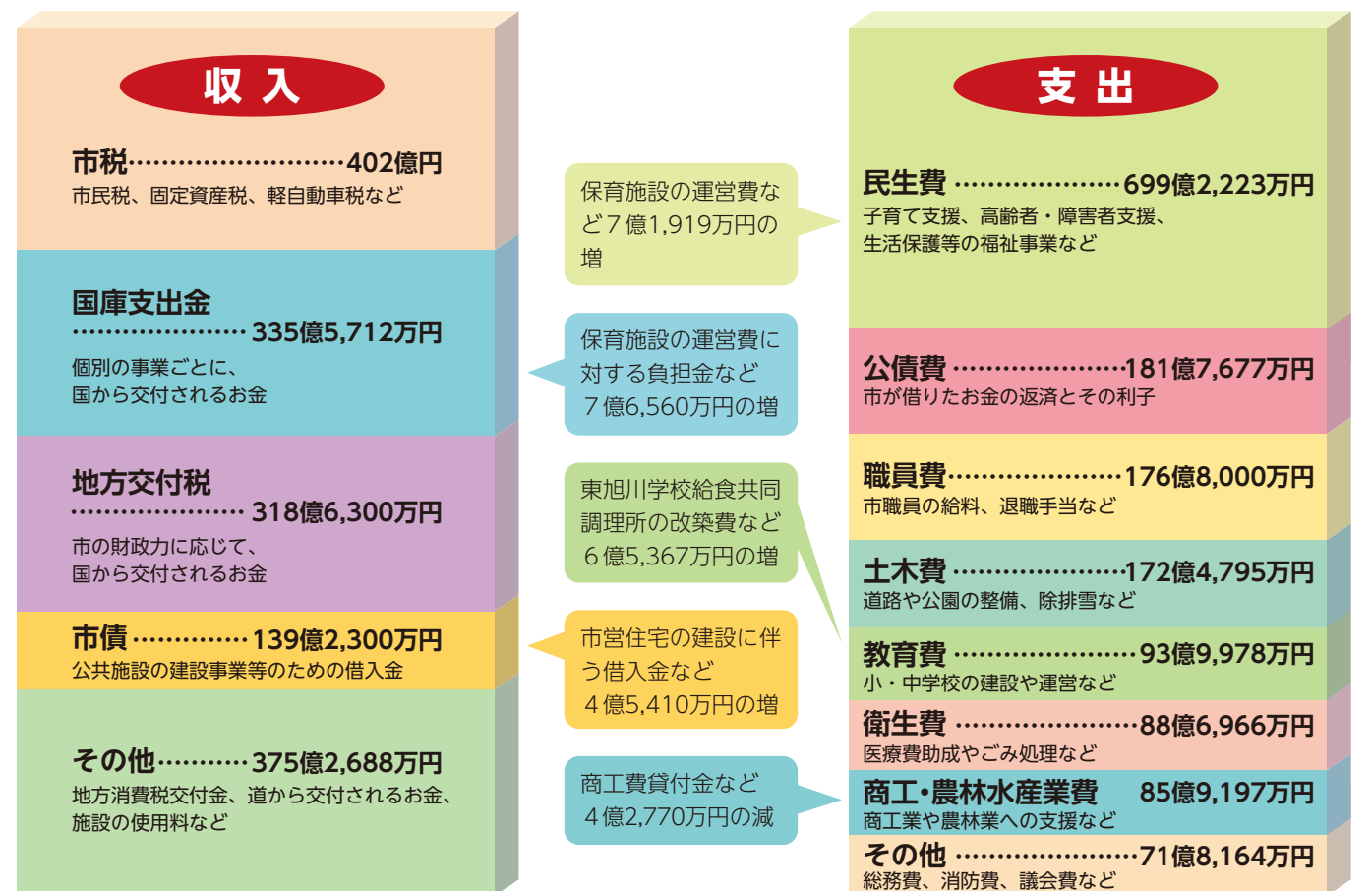
予算の内容や財政状況、主な事業を分かりやすくお知らせする冊子「旭川市の予算はどうなっているの？」を、市政情報コーナー（総合庁舎1階）、各支所・公民館などで4月下旬から配布します。



予算の詳細内容は市で見られます

今年度の予算は、一般会計と特別会計を合わせて2,731億2,966万6千円で、前年度からは、5億1,600万8千円、0.2%の減となりました。このうち、福祉や子育て支援、教育等、市民生活全般に関わる一般会計は、前年度と比べて、17億6,000万円、1.1%増の1,570億7,000万円となりました。収支不足のため、財政調整基金を13億8,000万円取り崩す予算となっています。

## 一般会計予算の内訳



※万円未満は四捨五入等により端数処理しています。



地域



住民同士のつながりを深め、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる環境をつくるための予算だよ

未来に



災害対応や市民サービスの充実など、未来のまちづくりのための予算だよ

緑が丘地域複合コミュニティ施設（仮称）整備費 → 3億7,356万円

地域まちづくり推進費 **重点** → 1,257万円

西神楽支所等施設再編整備費 **新規** → 920万円

小中連携一貫コミュニティ・スクール推進費 **重点** → 503万円

在宅医療推進費 **新規** → 300万円

アスベスト含有煙突改修費 **新規** → 1億3,650万円

コンビニ交付システム管理費 **新規** → 1億503万円

雪対策費（除雪機械オペレーター免許助成費など） → 1,732万円

庁舎非常用電源整備費 **新規** → 599万円

防災施設等整備費 → 250万円

避難場所整備費 → 70万円

財政状況を踏まえ、特別職職員の給与を減額しています

市長

給料月額から約19万円を減額

副市長

給料月額から約8万円を減額

この他、6月期末手当も減額しています

今年度の予算も、昨年に引き続き、平成28年度にスタートした第8次旭川市総合計画の重点テーマを柱に編成しました。地域に、にぎわいと活力を生み出し、誰もが安心して暮らせるまち、さらに魅力あるまちを目指して、収入の確保や経費の節減など、これからも持続可能で安定した財政運営に努めます。

身近なところに使われている予算

水道

108億円

- 水道水を作るための費用
  - 水道管・浄水場の建設・改修
- ※職員の給与を含む



除排雪

32億円

- 道路の除排雪費用
- ロードヒーティングの維持管理



下水道

143億円

- 下水を処理するための費用
  - 下水管・下水処理場の建設・改修
- ※職員の給与を含む



ごみ処理

30億円

- ごみの処理・運搬
- 清掃工場の維持・管理

